

中央情報センターニュース

NO. 27

2005年1月17日

2005年度9校が開校 12校に

05年度開校の2年課程通信制の養成所が決定しました。

(北海道)学校法人西野学園・札幌医療科学専門学校、(埼玉県)上尾中央看護専門学校、(東京都)聖母看護学校、(岐阜県)平成医療専門学院、(愛知県)弥富看護専門学校、(兵庫県)神戸常盤短期大学〔文科省〕、(和歌山)和歌山病院協会立・和歌山看護専門学校、(徳島県)徳島県立看護学院、(福岡県)麻生医療福祉専門学校、(熊本県)熊本看護専門学校の9校です。04年開校の(山口県)東亜大学学園附属看護学院、(福岡県)福岡看護専門学校、(大分県)別府大学附属看護専門学校の3校を加えると、12校になります。加えて現在、東京で1校が申請中です。



「各県1校」の開校をめざして、各県や情報センターの仲間と県あての署名や県交渉、関係団体との懇談などを行っています。

国や自治体、経営者の支援措置を明らかにしながら、私たちの目標とする「すべての准看護師を看護師に」、今年こそ、願いの実現する年にしたいものです。今年も看護職の力を一つに奮闘しましょう！



高知県医労連

病院見学・面接授業が高知県で可能

学習会に延べ500名の参加

1月15日、2年課程通信制の学習会を開催しました。徳島県立看護学院で2年課程通信制の05年4月開校が正式決定したことを受けて開いたものです。講師は、徳島県医療政策課の堀江氏、高知県医療対策課の戸梶氏、放送大学高知学習センターの中山氏です。50名が参加しました。

高知県医労連では、学習会や県交渉を重ねてきましたが、学習会は今回で6回目。未組織の病院にも呼びかけ、500名を超える人たちが参加しました。

臨地実習(病院見学・面接授業)は高知県内で

徳島県立看護学院は、四国4県が協力連携して運営するもので、定員250名のうち、徳島・香川・愛媛・高知はそれぞれ50名ずつの枠、50名は四国外からとなっています。高知では、すでに12箇所の病院や訪問看護ステーションが実習施設として確保されています。面接授業も高知県立看護学院で受講できるようになっています。

学費は半額を県が負担し31万円に

学費は、入学金10万円、授業料は四国に在住の人は31万円で、各学年半額納入です。これは、医労連四国地方協で県知事に要求していたもので、4県が財政負担することにより通常授業料62万円の半額となっています。

兵庫県医労連

三田で学習会に31名

阪神淡路大震災から10年。1月17日は県民にとって忘れない日となりました。16日には被災地で追悼の催しが始まり、あわただしい中での学習会となりました。被害の大きかった三田で31名が参加しました。

2年課程通信制の推進にあたって国会質問などの協力をいただいた元日本共産党の参議院議員の大沢たつみさんも参加しました。参加者は熱心に講義に聞き入り、終了後には放送大学の連絡先を訪ねに来る人たちもいました。三田地域の医労連未加盟の精神病院から集団での参加もありました。

准看護師の思いや期待を受け止め、次は神戸市内で引き続き行おうと決意をかためて終わりました。

情報センター情報

(宮城の仲間より)

放送大学が、役場や区役所、町立病院など、自治体ごとに、CSチューナーを設置してくれています。

(岡山の仲間より)

兵庫県の常盤短大のサテライトとして、面接授業などを名古屋と岡山で行うことになっています。常盤が県看護協会とタイアップして岡山県内で説明会を数箇所で開催しています。定員350人に対し、現在募集要綱の希望者が3000人になるとのことです。